



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月31日

上場会社名 日本航空株式会社

上場取引所 東

コード番号 9201 URL <http://www.jal.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 植木 義晴

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 木藤 祐一郎

TEL 03-5460-3068

四半期報告書提出予定日 平成29年11月1日

配当支払開始予定日

平成29年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|---------|-----|--------|------|--------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年3月期第2四半期 | 692,319 | 6.2 | 99,073 | 7.2 | 97,696 | 8.8 | 77,962 | 9.2 |
| 29年3月期第2四半期 | 651,928 | 5.2 | 92,442 | 23.0 | 89,804 | 26.8 | 71,405 | 30.9 |

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 88,823百万円 (0.3%) 29年3月期第2四半期 88,579百万円 (7.7%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期第2四半期 | 220.54 | |
| 29年3月期第2四半期 | 196.98 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-----------|-----------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 30年3月期第2四半期 | 1,786,936 | 1,055,804 | 57.3 | 2,897.00 |
| 29年3月期 | 1,728,777 | 1,003,393 | 56.2 | 2,749.71 |

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 1,024,136百万円 29年3月期 972,064百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期 | | | | 94.00 | 94.00 |
| 30年3月期 | | 52.50 | | | |
| 30年3月期(予想) | | | | 52.50 | 105.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

詳細については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-----------|-----|---------|-----|---------|-----|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 1,366,000 | 6.0 | 166,000 | 2.5 | 158,000 | 4.2 | 121,000 | 26.3 | 342.28 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|----------|---------------|----------|---------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 30年3月期2Q | 353,715,800 株 | 29年3月期 | 353,715,800 株 |
| 期末自己株式数 | 30年3月期2Q | 199,873 株 | 29年3月期 | 199,873 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 30年3月期2Q | 353,515,927 株 | 29年3月期2Q | 362,500,605 株 |

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は平成29年10月31日に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。

この説明会で配布する決算説明資料については、同日、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|---------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 5 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 6 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 6 |
| (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 | 8 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (セグメント情報等) | 11 |
| (重要な後発事象) | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期における営業収益は6,923億円（前年同期比6.2%増加）、営業費用は5,932億円（前年同期比6.0%増加）となり、営業利益は990億円（前年同期比7.2%増加）、経常利益は976億円（前年同期比8.8%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は779億円（前年同期比9.2%増加）となりました。

連結業績は次のとおりです。

| 項目 | 前第2四半期 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日) | 当第2四半期 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日) | 対前年同期比 (利益率は ポイント差) |
|--------------------------|---|---|---------------------------|
| 営業収益 (億円) | 6,519 | 6,923 | 106.2% |
| 国際旅客収入 (億円) | 2,131 | 2,293 | 107.6% |
| 国内旅客収入 (億円) | 2,533 | 2,650 | 104.6% |
| 貨物郵便収入 (億円) | 374 | 430 | 114.8% |
| その他収入 (億円) | 1,478 | 1,549 | 104.7% |
| 営業費用 (億円) | 5,594 | 5,932 | 106.0% |
| 燃油費 (億円) | 990 | 1,019 | 102.9% |
| 燃油費以外 (億円) | 4,604 | 4,912 | 106.7% |
| 営業利益 (億円) | 924 | 990 | 107.2% |
| 売上高営業利益率 (%) | 14.2 | 14.3 | 0.1 |
| 経常利益 (億円) | 898 | 976 | 108.8% |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 (億円) | 714 | 779 | 109.2% |

(注) 金額については切捨処理、比率については四捨五入処理しております。

セグメントの業績は、次のとおりです。

<航空運送事業セグメント>

当第2四半期における航空運送事業セグメントの業績については、営業収益は6,273億円（前年同期比7.1%増加）、営業利益は911億円（前年同期比9.1%増加）となりました。（営業収益及び営業利益はセグメント間連結消去前数値です。）

詳細は次のとおりです。

（国際線）

国際線旅客は、引き続き海外発の需要が堅調な事に加え、日本発の需要が好調に推移した結果、前年を超える高い利用率となりました。

路線運営面では、平成29年4月1日に開設した羽田＝ニューヨーク線に加え、成田＝メルボルン線（平成29年9月1日～）、成田＝コナ線（平成29年9月15日～）を開設し、路線ネットワークが拡大しました。

営業・サービス面では、TripAdvisor, Inc社（以下トリップアドバイザー）と共同し、トリップアドバイザーサイト上に構築する日本特集サイトを通じ、日本の知られざる魅力を発信することで、さらなる訪日旅客の需要を喚起する取り組みを行います。

商品面では、このたび787-9型機に新たな客室仕様の「JAL SKY SUITE 787（JAL スカイスイート787）」が加わりました。ビジネスクラスは最新のフルフラット型座席「JAL SKY SUITE III（JAL スカイスイートスリー）」を採用し、国際線中長距離路線のビジネスクラスにおけるフルフラット化をさらに推進するとともに、プレミアムエコノミークラスには他の「JAL SKY SUITE」機材でご好評いただいている「JAL SKY PREMIUM（JAL スカイプレミアム）」を装着しました。また、エコノミークラスは座席ピッチ（前後間隔）を約5cm拡大した「JAL SKY WIDER（JAL スカイワイダー）」を採用しており、成田＝クアラルンプール線、成田＝大連線で運航を開始しております。

以上の結果、当第2四半期の国際線供給は有効座席キロベースで前年同期比0.5%の増加、国際旅客収入は2,293億円（前年同期比7.6%増加）となりました。

（国内線）

路線運営面では、伊丹発着路線を中心にエンブラエル190型機の運航路線を拡大したことに加え、日本エアコミューターが運航する鹿児島県内の離島路線には、最新鋭のターボプロップ機であるATR42-600型機を新たに投入し、地方ネットワーク路線の利便性・快適性の向上に努めています。また旺盛な需要の見込まれる夏季の一部期間において、週末を中心とした深夜時間帯に羽田＝新千歳線の増便を実施し、お客さまのさらなる利便性向上を図りました。

商品面では、「JAL SKY NEXT」運航便にてご利用いただける「機内Wi-Fiサービス」について、日本の国内線では唯一となる機内インターネットサービスの無料化を実施し、多くのお客さまからご好評いただいております。また日本トランスオーシャン航空が運航する737-800型機においても、「JAL SKY NEXT」の導入を順次開始し、利便性・快適性の向上に努めています。

空港サービス面では、福岡空港・広島空港にてサクララウンジのリニューアルを行うとともに、羽田空港・新千歳空港・伊丹空港に次いで、福岡空港にも国内線最上級ラウンジとなるダイヤモンド・プレミアラウンジを新設し、飲食サービスのメニュー拡充や提供時間の見直しを実施するなど、ラウンジサービスの品質向上に取り組んでいます。

以上の結果、当第2四半期における国内線供給は有効座席キロベースで前年同期比0.5%の増加、国内旅客収入は2,650億円（前年同期比4.6%増加）となりました。

連結輸送実績は次のとおりです。

| 項目 | 前第2四半期 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日) | 当第2四半期 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日) | 対前年同期比 (利用率は ポイント差) |
|--------------------|---|---|---------------------------|
| 国際線 | | | |
| 有償旅客数 (人) | 4,213,414 | 4,210,442 | 99.9% |
| 有償旅客キロ (千人・キロ) | 20,405,606 | 20,766,883 | 101.8% |
| 有効座席キロ (千席・キロ) | 25,500,869 | 25,619,600 | 100.5% |
| 有償座席利用率 (%) | 80.0 | 81.1 | 1.0 |
| 有償貨物トン・キロ (千トン・キロ) | 899,776 | 1,087,547 | 120.9% |
| 郵便トン・キロ (千トン・キロ) | 108,572 | 124,982 | 115.1% |
| 国内線 | | | |
| 有償旅客数 (人) | 16,130,936 | 17,170,027 | 106.4% |
| 有償旅客キロ (千人・キロ) | 12,154,662 | 12,943,587 | 106.5% |
| 有効座席キロ (千席・キロ) | 17,884,848 | 17,980,984 | 100.5% |
| 有償座席利用率 (%) | 68.0 | 72.0 | 4.0 |
| 有償貨物トン・キロ (千トン・キロ) | 177,929 | 184,007 | 103.4% |
| 郵便トン・キロ (千トン・キロ) | 12,877 | 11,814 | 91.7% |
| 合計 | | | |
| 有償旅客数 (人) | 20,344,350 | 21,380,469 | 105.1% |
| 有償旅客キロ (千人・キロ) | 32,560,269 | 33,710,470 | 103.5% |
| 有効座席キロ (千席・キロ) | 43,385,717 | 43,600,584 | 100.5% |
| 有償座席利用率 (%) | 75.0 | 77.3 | 2.3 |
| 有償貨物トン・キロ (千トン・キロ) | 1,077,706 | 1,271,555 | 118.0% |
| 郵便トン・キロ (千トン・キロ) | 121,449 | 136,796 | 112.6% |

- (注) 1. 旅客キロは、各区間有償旅客数(人)に当該区間距離(キロ)を乗じたものであり、座席キロは、各区間有効座席数(席)に当該区間距離(キロ)を乗じたものです。輸送量(トン・キロ)は、各区間輸送量(トン)に当該区間距離(キロ)を乗じたものです。
2. 区間距離は、IATA(国際航空運送協会)、ICAO(国際民間航空機構)の統計資料に準じた算出基準の大圏距離方式で算出しております。
3. 国際線：日本航空(株)
国内線：日本航空(株)、日本トランスオーシャン航空(株)、日本エアコミューター(株)、(株)ジェイエア、琉球エアコミューター(株)、(株)北海道エアシステム
4. 数字については切捨処理、比率については四捨五入処理しております。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

① 通期連結業績予想

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|---------------------------|------------------|----------------|----------------|-------------------------|----------------|
| 前回発表通期予想 (A) | 百万円 1,348,000 | 百万円 153,000 | 百万円 146,000 | 百万円 108,000 | 円 銭 305.50 |
| 今回発表通期予想 (B) | 1,366,000 | 166,000 | 158,000 | 121,000 | 342.28 |
| 増減額 (B-A) | 18,000 | 13,000 | 12,000 | 13,000 | — |
| 増減率 (%) | 1.3 | 8.5 | 8.2 | 12.0 | — |
| (参考) 前期連結実績 (平成29年3月期) | 1,288,967 | 170,332 | 165,013 | 164,174 | 456.56 |

(注) 「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、平成29年9月30日時点のものを使用しております。

② 修正の理由等

足元の市況を反映し、市況前提の見直しを以下のとおり行いました。

| | 為替レート (円/米ドル) | シンガポールケロシン (米ドル/バレル) | ドバイ原油 (米ドル/バレル) |
|----------|-----------------------|-------------------------|-----------------------|
| 前回発表通期予想 | 114.0円 | 65.1ドル | 52.6ドル |
| 今回発表通期予想 | 113.0円 (下期：115.0円) | 60.5ドル (下期：60.0ドル) | 49.4ドル (下期：49.0ドル) |

通期連結売上高については、上期実績の反映および下期の需要見通しの変更等を主たる要因として、前回発表予想額と比べて180億円の増加を見込んでおります。通期連結営業費用については、上期実績の反映および下期の費用見通しの変更等を主たる要因として、前回発表予想額と比べて50億円の増加を見込んでおります。これらを反映した通期連結営業利益は前回発表予想額と比べて130億円の増加を見込んでおります。

また、通期連結経常利益については120億円の増加、通期親会社株主に帰属する当期純利益については130億円の増加となる見通しであることから、平成30年3月期の業績予想を上表のとおり修正いたします。

通期の連結業績予想の修正を踏まえ、平成30年3月期の年間配当金予想を1株当たり105円に修正いたします。このうち、中間配当金につきましては、1株当たり52円50銭とすることを平成29年10月31日の取締役会にて決議いたしました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日) |
|--------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 392,075 | 414,179 |
| 受取手形及び営業未収入金 | 142,745 | 146,115 |
| 有価証券 | 12,000 | 3,999 |
| 貯蔵品 | 21,118 | 21,554 |
| その他 | 58,886 | 49,167 |
| 貸倒引当金 | △493 | △508 |
| 流動資産合計 | 626,332 | 634,508 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 航空機 (純額) | 671,387 | 710,374 |
| その他 (純額) | 153,540 | 157,358 |
| 有形固定資産合計 | 824,928 | 867,732 |
| 無形固定資産 | 95,913 | 100,548 |
| 投資その他の資産 | 181,602 | 184,146 |
| 固定資産合計 | 1,102,444 | 1,152,428 |
| 資産合計 | 1,728,777 | 1,786,936 |

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 営業未払金 | 159,218 | 172,685 |
| 短期借入金 | 5,372 | 329 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 13,037 | 11,484 |
| リース債務 | 5,712 | 3,435 |
| 割賦未払金 | 181 | 183 |
| その他 | 181,078 | 192,532 |
| 流動負債合計 | 364,601 | 380,650 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 20,000 | 20,000 |
| 長期借入金 | 65,802 | 62,987 |
| リース債務 | 5,300 | 3,946 |
| 長期割賦未払金 | 666 | 573 |
| 引当金 | 5,965 | 6,097 |
| 退職給付に係る負債 | 238,481 | 233,894 |
| その他 | 24,568 | 22,982 |
| 固定負債合計 | 360,783 | 350,481 |
| 負債合計 | 725,384 | 731,131 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 181,352 | 181,352 |
| 資本剰余金 | 183,047 | 183,047 |
| 利益剰余金 | 647,701 | 692,434 |
| 自己株式 | △531 | △531 |
| 株主資本合計 | 1,011,569 | 1,056,301 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 13,828 | 15,642 |
| 繰延ヘッジ損益 | △667 | 2,192 |
| 為替換算調整勘定 | 232 | 159 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △52,898 | △50,160 |
| その他の包括利益累計額合計 | △39,504 | △32,165 |
| 非支配株主持分 | 31,328 | 31,668 |
| 純資産合計 | 1,003,393 | 1,055,804 |
| 負債純資産合計 | 1,728,777 | 1,786,936 |

（2）四半期連結損益及び包括利益計算書
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第2四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年9月30日） | 当第2四半期連結累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年9月30日） |
|------------------|---|---|
| 営業収益 | 651,928 | 692,319 |
| 事業費 | 464,639 | 491,791 |
| 営業総利益 | 187,288 | 200,527 |
| 販売費及び一般管理費 | 94,846 | 101,454 |
| 営業利益 | 92,442 | 99,073 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 1,005 | 1,333 |
| 持分法による投資利益 | 1,895 | 1,949 |
| その他 | 1,749 | 1,574 |
| 営業外収益合計 | 4,649 | 4,858 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 416 | 405 |
| 航空機材処分損 | 3,381 | 4,686 |
| その他 | 3,489 | 1,143 |
| 営業外費用合計 | 7,287 | 6,234 |
| 経常利益 | 89,804 | 97,696 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | — | 723 |
| 独禁法関連引当金戻入額 | 711 | — |
| その他 | 123 | 131 |
| 特別利益合計 | 835 | 855 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 312 | 885 |
| 支払補償金 | 995 | — |
| その他 | 95 | 297 |
| 特別損失合計 | 1,403 | 1,183 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 89,236 | 97,369 |
| 法人税等 | 14,167 | 15,853 |
| 四半期純利益 | 75,068 | 81,515 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 71,405 | 77,962 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 3,663 | 3,552 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △2,241 | 1,639 |
| 繰延ヘッジ損益 | 13,864 | 2,834 |
| 為替換算調整勘定 | △1,204 | △149 |
| 退職給付に係る調整額 | 3,183 | 2,750 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △90 | 233 |
| その他の包括利益合計 | 13,511 | 7,307 |
| 四半期包括利益 | 88,579 | 88,823 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 85,337 | 85,302 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 3,242 | 3,520 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) |
|--------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 89,236 | 97,369 |
| 減価償却費 | 46,958 | 51,607 |
| 固定資産除売却損益及び減損損失 (△は益) | 3,405 | 5,129 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | △1,723 | △725 |
| 受取利息及び受取配当金 | △1,005 | △1,333 |
| 支払利息 | 416 | 405 |
| 為替差損益 (△は益) | △815 | △533 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | △1,895 | △1,949 |
| 受取手形及び営業未収入金の増減額 (△は増加) | △4,011 | △3,421 |
| 貯蔵品の増減額 (△は増加) | △607 | △436 |
| 営業未払金の増減額 (△は減少) | 1,536 | 13,538 |
| その他 | 20,511 | 9,058 |
| 小計 | 152,005 | 168,708 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1,431 | 1,887 |
| 利息の支払額 | △471 | △351 |
| 法人税等の支払額 | △20,498 | △11,126 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 132,466 | 159,118 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △133,451 | △188,684 |
| 定期預金の払戻による収入 | 212,513 | 178,380 |
| 固定資産の取得による支出 | △127,922 | △108,087 |
| 固定資産の売却による収入 | 2,477 | 4,119 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △217 | △374 |
| 投資有価証券の売却及び償還による収入 | — | 1,336 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入 | — | 48 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入 | — | 23 |
| 貸付けによる支出 | △148 | △435 |
| 貸付金の回収による収入 | 660 | 757 |
| その他 | 7,124 | 6,712 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △38,964 | △106,203 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △5,533 | △5,043 |
| 長期借入れによる収入 | 3,034 | 3,056 |
| 長期借入金の返済による支出 | △6,669 | △7,294 |
| リース債務の返済による支出 | △8,941 | △4,169 |
| 配当金の支払額 | △43,450 | △33,190 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △2,806 | △2,851 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △64,367 | △49,492 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △687 | 560 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 28,446 | 3,983 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 92,951 | 124,261 |
| 合併に伴う現金及び現金同等物の増加額 | 58 | 122 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | ※1 121,456 | ※1 128,367 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりです。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 現金及び預金勘定 | 353,490百万円 | 414,179百万円 |
| 有価証券勘定 | 16,000 | 3,999 |
| 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 | △248,034 | △289,811 |
| 現金及び現金同等物 | 121,456 | 128,367 |

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | その他 (注) 1 | 計 | 調整額 (注) 2 | 四半期 連結損益及び 包括利益計算書 計上額 (注) 3 |
|---------------------|------------|--------------|---------|--------------|--|
| | 航空運送 事業 | | | | |
| 売上高 | | | | | |
| ① 外部顧客への売上高 | 526,375 | 125,553 | 651,928 | — | 651,928 |
| ② セグメント間の内部売上高又は振替高 | 59,313 | 14,425 | 73,739 | △73,739 | — |
| 計 | 585,689 | 139,978 | 725,668 | △73,739 | 651,928 |
| セグメント利益 | 83,543 | 9,043 | 92,586 | △144 | 92,442 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、旅行企画販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | その他 (注) 1 | 計 | 調整額 (注) 2 | 四半期 連結損益及び 包括利益計算書 計上額 (注) 3 |
|---------------------|------------|--------------|---------|--------------|--|
| | 航空運送 事業 | | | | |
| 売上高 | | | | | |
| ① 外部顧客への売上高 | 565,974 | 126,344 | 692,319 | — | 692,319 |
| ② セグメント間の内部売上高又は振替高 | 61,343 | 15,265 | 76,608 | △76,608 | — |
| 計 | 627,317 | 141,609 | 768,927 | △76,608 | 692,319 |
| セグメント利益 | 91,138 | 7,985 | 99,123 | △49 | 99,073 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、旅行企画販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。